

# トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひご覧ください。

## 「第28回ふくおか県民文化祭2020」表彰式

11月29日、「第28回ふくおか県民文化祭2020」表彰式が福岡市で開催され、江藤秀之副議長や井上正文県民生活商工副委員長など多くの議員が出席され、



「2020ふくおか県障がい児者美術展」に出展された絵画・書道・写真のうち、特に優れた作品に福岡県議会議長賞を贈呈しました。

## 福岡ソフトバンクホークスに感謝状を贈呈

12月5日、「福岡ソフトバンクホークス ファンフェスティバル2020」が福岡ベイパイドームで開催され、吉松源昭議長が出席しました。



吉松議長は、4年連続プロ野球日本一の栄冠に輝いた福岡ソフトバンクホークスに対し、県民の皆さんに感動を与え、地域を元気にしてくれた功績を称え、福岡県議会からの感謝状を手渡すとともに、副賞の県産農産物を贈呈しました。

## ジャパンラグビートップリーグ開催に係る県議会訪問

12月16日、ジャパンラグビートップリーグに出場するチーム（コカ・コーラレッドスパークス、九州電力キューデンヴォルテクス）の選手と九州ラグビーフットボール協会の久木元孝行会長が福岡県議会を訪問され、吉松源昭議長、江藤秀之副議長、福岡県議会スポーツ議員連盟の井上順吾会長をはじめとする役員等がお迎えしました。



## 在福岡大韓民国総領事が県議会表敬訪問

11月24日、李熙燮在福岡大韓民国総領事が、着任の挨拶のため県議会を訪問され、吉松源昭議長、江藤秀之副議長、福岡県日韓友好議員連盟の役員がお迎えしました。



## 「まごころ製品」販売会を議会棟で開催

12月定例会開会日である12月1日、障がいのある皆さんが心をこめて作った「まごころ製品」の販売会が議会棟1階の玄関ホールで開催され、



今年は県内各地域から16の施設が出店しました。当日は、吉松源昭議長や江藤秀之副議長をはじめとする多くの議員がブースを訪れ、商品の説明を受けるとともに、お菓子などの食品や、雑貨など様々な「まごころ製品」を購入しました。

## 株式会社喜多屋が県議会訪問～国際ワイン・チャレンジ2020の受賞報告～

12月8日、八女市の酒造業者である株式会社喜多屋の木下宏太郎代表取締役社長、江崎俊介福岡県酒造組合会長など関係者が、IWC（国際ワイン・チャレンジ）2020 SAKE部門の受賞報告のため県議会を訪問され、吉松源昭議長、江藤秀之副議長をはじめ、各会派代表者、関係議員がお迎えしました。



## 広域行政セミナー ～日本で洋上風力発電を導入する意義～

12月2日、本県議会議員をはじめ九州の政財界の有志を会員とする「九州の自立を考える会」（会長：藏内勇夫議員）が、福岡市内で第16回広域行政セミナーを「洋上風力発電促進福岡県議会議員連盟」（会長：吉松源昭議長）との共催にて開催し、一般社団法人日本風力発電協会の加藤仁代表理事が「日本で洋上風力発電を導入する意義」とのテーマで講演されました。

加藤代表理事は、「異常気象の原因とされる温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)を多く排出しているのは、電力の中では、石炭火力発電である。欧州では、石炭火力廃止に向け、洋上風力発電を中心に再生可能エネルギーの導入が本格的に進み、電源構成における風力発電は、2016年に石炭火力を抜き、実力的にも在来火力発電と遜色のない競争力を持った電源となっている」等、洋上風力発電の優位性や導入が急速に進んでいる欧州の状況を紹介されました。

また、日本国内に関しては、「菅義偉首相は、10月26日の所信表明演説で、温室効果ガス排出を2050年までに全体としてゼロにするという目標を表明された。協会としては、2030年に洋上風力発電で1000万キロワット、陸上風力発電で1000万キロワットの合わせて2000万キロワットを目標とし、2040年は、産業の熟成度次第だが、洋上風力発電で3000万から4500万キロワットを目標にしましょうと政府に提案している（12月15日、政府は提案に基づく導入計画を発表）」、「基礎用厚板として毎年15万トンから20万トンの鋼材需要が生じ、既存産業である製鉄、造船、鉄鋼等の再活性化が期待できる」、「日本には、潜在的な技術力とモノづくりの基盤があり、洋上風力発電産業形成のポテンシャルを有している」等の説明がありました。また、各電力会社間の系統の一体運用による電力の広域利用や洋上作業時間短縮によるコスト削減のために風車をできるだけ陸上で組み立てることができるよう港湾設備を整備する必要性等、洋上風力発電導入の課題等についても紹介されました。

